

石油ストーブによる火災

事故の概要

【事例①】

石油ストーブの給油中、火災が発生して周辺を焼損した。

【事例②】

石油ストーブを点火後、ストーブ下部から出火する火災が発生した。

事故の原因

【事例①】

カートリッジタンクのふたが確実にしまっていないため灯油が漏れ、消火直後の高温部にかかって発火したものです。

【事例②】

石油ストーブの置台にほこりが堆積したことによって給気不足となり、吹き返し現象が生じて置台上のほこりに炎が着火したものです。



漏れた灯油が石油ストーブの高温部にかかり発火した事故の再現実験



事故防止のために

- ◆ 給油の際は必ず消火し、暖房機器の温度が下がったことを確認してから行ってください。
- ◆ 給油後はカートリッジタンクのふたを確実にしめ、灯油が漏れないか確認してください。
- ◆ フィルターや置台などにほこり等の堆積や漏れた灯油が無いか点検し、取扱説明書の指示に従って手入れしてください。

